

A: あのね、聞いて！ずーっと夢だったテレビ業界に潜り込むことに成功したんだ！

B: 潜り込むって。でもよかったじゃない！おめでとう！実はわたしも夢が叶ったの！

A: え、なにになに？どんな夢？

B: わたし昔からアニメオタクだったけどそれを仕事にできるんだ！ゲーム制作会社に就職が決まったんだ！

A: わお、すごいじゃん！努力したんだろうね！

B: 好きだから努力っていう風には思わないけどでも頑張ったかな。あなたも家族の方喜んだでしょう？

A: うん、妹から就職祝いにスーツもらっちゃった。うちの妹はアニメ好きだから、なんだか、あなたにシンパシーを感じるわ！

B: いい妹さんだね！わたしも一人っ子だから両親が大喜びでさ。

A: そりゃ、そうでしょう！就職の次に、ご両親が喜ぶことと言ったら、結婚して孫の顔を見せることかな？

B: うーんそれはもう少し先になりそうだな。あなたは？

A: わたしなんて、永遠に現実にはならないかも。浅黒い肌じゃ、嫁にもらってもらえなくて、多分ずっと独身貴族だからねー！

B: そんなことないよ。そういうの好きな人もいると思うけどな。